



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

私は、先生の話をおきいて、(原爆、て、こわいな)と思いました。前までは、原爆ときいても、ただの爆た人がいる、てきて、少しづつがいがあただけかと思、ていたけれど、実際には、死者数14万人という、たくさんの方がなくな、て知り、ててもなくなりました。また、私は、原爆を投下する場所を前からきめていたことにびっくりしました。私は、前まで、原爆は戦争中に投下された爆たんの中の一つで、その中で、とくにみがいがあ、ただ、たかと思、ていたけれど、実際は、投下する場所も、候補が決められていたり、投下の条件があ、たりしたことは、おどろきました。ほかにも、投下された、リトルボーイ、も、200m7000とのも、51本だ、たことは、おどろいたし、考えてみれば、太よと同じ温度のものが、おちてきたのだから、正しき言、て、(たくさんの方が、てくなるのもあ、たり、ま、え、だ、な...)と感じました。おちてきて、すぐに、て、な、た、人、も、い、た、け、れ、ど、ま、い、には、て、く、な、ら、な、か、た、人、達、が、と、て、も、か、わ、い、ら、な、い、と、思、わ、す、な、せ、な、ら、体、は、ま、く、ら、だ、し、み、は、は、が、れ、て、い、る、し、ま、い、には、川、も、み、な、て、し、ま、た、が、ら、で、す。もう二度と、戦争をしては、い、け、ない、と、改、め、て、感、じ、ま、し、た。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

表

私は昨日の授業を受け、改めて、原爆の恐ろしさと、多くの人の命の大切さを痛感しました。またおどろきもありました。私がおどろいたのは、広島に投下された原爆「リトルボーイ」です。長さ3.12mにして重さが4tということにまずおどろいたのですがもっとおどろくことがありました。温度です。始めに落とされたときの9632mから落ちて、上空600mのところに落ちると7000℃～100万℃くらいの温度になることにおどろきました。そのせいで、いっしょに多くの人が死に至り、心が痛みました。死亡率は、40%で5人に2人の割合でなくなっていて、人々にも原爆で人が死ぬことに、改めて、原爆の恐ろしさを感じました。私は、広島に行き、原爆資料館に行ったことがありますが、二年生ぐらいに行っただのに、今も印象が強くおどろいたのを覚えています。他の人にも、行ってみたいと思っています。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私は、この話を聞いて、びっくりしました。
なぜなら死亡率が40%で、5人に2人が
亡くなってしからうからです。さらに、聞くのが
はじめてかなと思う事もたくさんありました。
まず1つ目は、広島に投下された原爆暴
の名称が「リトルボーイ」だった事です。私は、もっ
とおそろしい名前だと思っていたので、び
っくりしました。2つ目は、玉球体のあつさ
が「9000℃」の事です。私は、太陽のあつさ
とほとんど変わらないので「すこい」と思っ
ました。3つ目は、候補になった都市の中
で長崎もあったことです。私は、広島だったか
だと思っていたので、びっくりしました。

私は、またよりくわしく、この話を聞きたいな
と思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

僕は原爆先生の特別授業を受講して、原爆に興味がわきました。それは、なせかというし、原爆先生の特別授業を受ける前は、原爆の事をあまり知らず、爆発してどれくらいしか分かりませんでした。でも、当時の様子やどのくらい爆発するかなど、具体的な数字を聞いて、興味がわきました。どんな所に興味を持ちましたかというし、原爆はどのような原理で爆発するのかや、放射線とは何かという所に興味を持ちました。原爆は怖いけど、僕にとっては、すごく興味のあるものになりました。そして、原爆のことを十分に知って、その上で、原爆はためたこと思ふことが大切なのだと僕は思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆が投下されたことは、前から知っていて、
「しこいけい」と思っていただけだったけど、特別
授業をうけて、とてもおそろしい事だったんだと
と改めて実感しました。原爆の被害をうけた爆
心地から3kmは離れたところでもけが人が出る
ほどすごい力をもっていたことを初めて知りました。
ビデオで話している時に義三さんが泣いている
のを見て、本当に悲しい事だと思いました。
爆心地周辺にいた人達が「一瞬で灰に
なることや、防火用水の中の水が人が熱が
過ぎて、蒸発してしまう」という事を聞いた時は
とてもおどろきました。広島市の住民の40%が
原子爆弾1つで亡くなってしまったのもおど
ろきました。「一瞬で亡くなった人、苦しんだ末に
亡くなった人、命は助かったけど、今だに昔、放射
線に当たったことで苦しんでいる人がたくさん
います。このようないふことも二度と起こさな
いために、戦争は絶対してはいけないこと
だ」と思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生のお父さまの話を知ったことで、ものすごく原爆
に関する認識が強くなり、大層に感じます。

私は原爆に関して身近に話を聞いたりする機会は、
とまあ少なかったです。長崎にある原爆資料館や

本を讀んだり、聞いたりする機会はありませんでしたが、実際に
原爆の被害や状況を見たという方々からお話を

うかがうのは全然ちがいました。原爆または原子爆弾は
そこにいる戦争とはなんの関係もない、いわゆる一般の人々の
命を一瞬でまたは、その後、原爆病として、苦しめる

あまりに理不尽で残酷なものなのに私は考えました。

原爆は、人々の命をうばう残酷で理不尽なものですが、

そのことにより、IAEA国際原子力機関や部分的核実験
禁止条約ができたなどの世界各国の取り組みをニュースで

拝見すると、やはり、世界の人々のなかでも、原爆に対する
認識が強くなっていると感じると、やはり、原爆先生などの

いろいろな方々の協力により、私のほうにいろいろな人々の
認識が強くなっているのだなと感じます。こればかりも

がんばってほしいです。今回の特別授業はとて心
にしみる話ばかりでした。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は、はじめてしたことだらけで、全部のお話におどろきました。まず私が一番おどろいたのは、体、全体が「やけど」していたことでは私は、やけどなどをしたことがないので、どんなに痛いのかは、分かりませ人が、手から、ひびのような物がたれさがっている写真を見て、むく痛そうでした。そういう人たちは手を前にたして歩いていて、それが何でそのような歩きかたをするのか分かりませ人でしたか。先生が言うには、今の人たちは、手をぶら下げて歩きますが、体、全体がやけどして、ひびかたれさかってしまった人たちは、手をぶら下げて歩いてしまうと、脇が折れてしまいとても痛いので手を前にして、歩いていたそうです。そのお話を聞きなるとくしました。次におどろいたのは、原爆ドームでの死者数です。14万人もの人が命をおとしてしまったそうです。14万人なんて、すごい人数だと思えます。そんなに大変だったことか、わかりません。その中の2万人は、いっしょにこのまをさってしまったそうです。とても悲しいことです。いっしょになくなってしまふことはそうどうもできません。それほどひどいからたんでしょう。

次におどろいたのは、「リトルボーイ」です。をほかのよびかたにすると、小さな子や少年と名付けられていたそうです。なんと約4tもあるそうです。しかも、4tが時速300kmで落ちてくる

そうです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私は池田さんの話を聞いて昔は、
たくさんの方が原爆で亡くなったことを知り
ました。私達が生まれる前では、たくさん
の方が苦しんでいたことを知ってとても
かわいそうだと思いました。

広島に投下された原爆「リトルボーイ」は、
直径 3.12m で、重さがぐんぐんととても大
きく、重たい原爆だったそうです。

私は、こんなにも大きな原爆が落ちてきた
ら、とても怖いと思います。

大やけどをしている人達のかおがはかれ
おちていくという話をきいて、私は、きいている
だけで、体が痛く感じました。

私は、今回、この話をきいて、原爆のおそ
ろしさを知りました。そして、これからも原爆が
あるかもしれないけど、少しでもなくなてほしい
と思います。これからも平和な暮らしがいつ
までも、続いてほしいと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

自らは原爆があったことは
 知っていたけれど、その奥深い内容や
 (いろいろな思い考え大受つらさその中で
 があったこと)今の平和な生活
 暮らしがあるのだからと今回聞いたこと
 で改めて感じた。とても高温で太陽よ
 りも熱く、土に重くおとされたこと
 で、広島市の人口が約6割に減ったこと
 を知り平和な暮らしの大切さが分かった。
 とくにやけどをおりあつてくるし、
 人の努力が目に浮かぶとせつない思い
 がしてまた、でも原爆はうしなつたもの
 も多いけど、もつたものも多いと思う。
 新しい町が作りやすくなつたり、なにより
 人々の平和な世界を目指そうといふ
 気持ちの大きな第一歩だと思ふ。
 だからこれからは身近な人たちにも
 優しく接し笑顔で平和な社会が
 続くようにしたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

実体験の他に、資料のことも、
 くわしく聞くことができて、とても貴重な
 良い体験だと感じることができた。
 特に実体験では被爆した人の
 様子が、町がどんな状況になっていた
 たか、資料ではエラゲイの名前
 の由来や原子火暴弾の温度さらにはろ
 つの被害熱線放射線衝撃波のこ
 がとてもマナーな情報を感じ、また
 とても印象的だった。祖母が長崎
 にい、原火暴の怖さは多少知っていた
 たが、話を聞くことであらためて
 知る事ができた。そして多くの死
 傷者を出したおそろしい原子火暴弾
 がこの世にでてくることは絶対に
 あってはいけないと強く思える。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

表面温度が太陽より毛あついで
 だかにかばいせしと毛あつた。
 原爆が47毛あつた。は二つのかむ
 ぶかしいんではふいかと毛あつた。
 原爆をおとす候補に京都や
 横浜新潟毛あつた。かんとしりませ
 んでい。池田先生の話をきいて
 原爆はすこごかい毛あつた。という
 ことをしりよかつた。で若
 原爆がまふところはいっしょん
 真空にかるとけつことをしることか。てん
 ちまかつた。死者数14万人といふのは
 すごい。たは毛あつた。か
 毛あつた。今は平知でして毛あつ
 と毛あつた。この50かた。とつが
 とといと毛あつた。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

写真で、手をななめ下にしている。その手は
ひんがたれていたので、すごくこわい
なと思いました。やけどをしてひる、か
たれることほなからたので、そういう事かた
のだと思いました。

でも、てんじさかっているのをみて『こんな
あまじい』とらっていたのは、すく印象に
のこりました。

原爆は、国語の授業で、しやっていたので、
分かった気がしたので、すがいさ、受講し
話を聞いてみるのと、かさいとかもいた
らしく、少しおもしろくなりました。

しかし、死亡率が40%と聞いて、とても
ビョリッしました。

今回、もっと詳しく原爆について
知ることが出来ました。このお話を
ゆめかたにいようにしたいと思いました。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、じゅくで「広島」の原爆の話を、少しは知っているつもりだった。しかし、池田さんの父の生々しい、原爆の体験談を聞き、自分は何も分かっていなかったのだ、と思った。教科書で「書いてあることより、比喩」物にならないくらい「いひ」とい話だった。池田さんの父さんの、助けよう、という気持ちがある。だが、救えなかった、助けられてなかった、力がなかった、という悔しい気持ちを考えると、心が「痛んだ」。日本は、世界で「ただ」一つの原爆をおとされた都市だ、しかし、戦時中、日本もおこ「たらしい」人体実験をしていたという。もちろん他の国も。だからといって、原爆をおとされた、という事実をねじまげていいことではない。この事から私は、戦争は本当におこしてはいけないことだ、と思った。何より、利益を生まない。ただ、「損失が」大きくなる戦争を、この先、おこしてはならない。また、広島や長崎で、原子爆弾実験は終わりにす「ま」た。最近、北朝鮮という国が核爆弾実験をしているか、はやくす「ま」た、と思った。それが、原爆で亡くなった38万人の古々、そして遺族の願いなのかな、と感じた。



原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

池田さん

長い時間、原爆について教えてくださり、ありがとうございました。
私は、原爆トームに行ったことがあるけれど、池田
さんの話を聞いてあらためて、原爆のおそろしさに
知りました。

後半のことがよくつかえた。サツメイカ、とても分かりやすかった
です。また、1717、アインシュタインに教えてくださったり、しるしに
やって見せてくださったりしたのも、とてもよかったです。

最初のおはなしも、ゆっくりはなしてくださったおかげで、内
容がとても頭に入りました。

私が一番印象に残ったのは、しりょうかんの人形は、「きれい
すぎる」とか、しゃべっているところ。そこで、原爆が「おとされた
直後は、そうそつでまあいくらい、ゆかいにのた」と思いま
した。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

いつどこで すごいとモウなしい話したと
おもった。ばくたんが落ちるときのおとが
はげしくビックリした。まいよはしらな
かったからきけてよかったと思った。
もうあまりききたくないと思った。
そして近くに生きている人がいるとまいたとき
すごいと思った。そしてたまたま人があ
ると思った。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

原爆は太陽よりつめたしと思っ
ていい
てい表面温度が太陽の十倍
を知ってもしもおそろし
ことだと思っ、また遠くは
れともはくしたかおわか
か木村様、持てこのひま
いなくもっていらすと知
本当に人の力をつくした
とは思、ええせんといした
原爆の
ようはええい、ものを
技術をもっている人
が、一番
二がいと思っ、ました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

はなはなと書いてはくれなくて
 明かたれと書いてはくれなくて
 写さなくてすきい知友
 だれからかためてきています。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の言古を聞いて原爆がどれほど怖いかが
わかった。感想のときはすかしくていえなかつたけど国語の教
科書でみた平和のとりでをきく、で原爆の話と
読んだが、じっさいそのむがいにあった、池田義三さんの
おかげでどれほど胸がつぶれそうになったか...
それをのりこえた。そのあとの原爆の資料を見たが
これまた胸がつぶれそうになった。私はがんばって原爆先生
が話していたことをほとんどメモをした。太陽よりも温い
空気炎、原爆で死亡率40%。さっぱりです。
衝撃波の速さが毎秒400m すごい速くすぐに死
にそうなのです。条件が直径5km、予、空襲が
ないこの条件がなくてもあてはまらなければよかったと
思い、原爆をせちした国と私はゆるした
くないです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を^{じゅこう}受講して

表

祖父が長崎出身の被爆者だから、戦争や原爆の話は何度聞いたことがある。だが祖父はまだ小学校くらいの子ともなから、覚えていることも少なく、内容が濃いとは言えない。しかし、義三さんが体験した町の情景、被爆者の群れ、遺体捜索、死別の話と聞き、原爆、戦争の恐ろしさを改めて感じた。義三さんは、奇跡にあたり山座によって助かったが、祖父も長崎で原爆からのがれた一人だ。曾祖父の水道管工事に同行していた祖父は、穴の中で水道管の付け替えの時に原爆に遭った。爆心から少し離れたため、真上の被爆はなかった。扶、熱風を直接浴びることもなく、家に帰る家族も助かった。今祖父が生きていること、僕が生きていることは奇跡だと思っただけ。義三さんが山座の広島市を向くもたれかただったこと、山座が遺体だったことにより助かったこと、改めて僕が生きていることは奇跡的なことだ。戦争は怖いことだとも改めて感じ、原爆資料館に一度行ってみたい。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

僕は、広島に原爆が落ちたという話を聞いたことがあり、原爆は、ただ単に、恐ろしいものであるという認識しかありませんでした。また、広島にいた際に原爆ドームに行ったことがあり、写真や資料、置き物などを見おそれず目をつぶり、ました。しかしながら、先日の話では、原爆先生の父の義三さんの実体験の話も聞き、その一部である義三さんの「守れすぎる」という言葉を聞き、その義三さんが原爆が落ちた直後に見た被爆者の姿は想像を絶するものであったのだと感じました。また、一度原爆ドームで見たとはいうものの義三さんの実体験を聞いた直後に、焼け野原の写真を見て改めてその広島人口35万人中24万人の被爆者を出した原爆のいりよくを感じました。そして、きのこ雲のつき方を聞いたときには、成層圏まで達したためにきのこ雲は横に広がるとは知りませんでした。上昇するための熱さがすごいのだと思いましたがその後原爆の7000℃という熱さを知りあの太陽よりも1000℃高いとは、とてもおどろきました。そんなものを人があびたはそれではやはり先日見たような姿になってしまうのかと思ひそこにいた被爆者をあわれむとともにそこにいて運よく助けた義三さんはとても幸運であったと思いました。

最後に僕は、この話を聞いて原爆のいりよくを言葉にあらわしては失礼だという結論になりました。そして、こうして安全に生きていることに感謝したいと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、池田さんに原爆のことを受講して、
原爆というのはとてもこわく、おそろしいことなんだ
なあと思いました。原爆の表面は、太陽と比べて
7000℃も高い、7000℃で、中心は100万℃もあるとい
うことにとってもおそろしかったです。私がかもし、その時にい
たら、あきらめてしまいたいぐらいなのに、当時の人たちは工夫
して、かんはらって生きようとしていることに感動しまし
た。放射線にあたってしまった人は原爆症ということ
を知り、さらに今でも苦しんでいる人がたくさんい
る。かゆいところな、つらそうだな、と思いました。原子爆
弾投下都市の条件が、直径5kmを超える大
きな都市であること、平野であること、空襲が今まで
なかった、というような条件だということも知りました。
本当は、京都が一番の候補だったけど、人間にとって重
要な文化財のため、除外されたことも知りました。小お
すり傷などは、消毒などをすれば、すぐに直るけど、
全身やけどなどは、すぐには直らないし、一生のま
たということ考えると、すごくかなしいことだなあと思
いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅうこう

表

名前は裏面に記入してください

テレビやニュース等で、昔広島に原爆が投下されていざいな事があつたことは知つていたが、原爆先生の特別授業で実際に現場でそれを目撃した人の日記を元にした話は、私が今まで見たり聞いたことよりも、悲惨で生々しく痛々しかったです。私が一番印象に残つてゐるのは、9日目に御幸橋手前で、男の子に呼び止められ、焼け跡のなかで、17歳くらいの女性の足を治していたところや、宇品浅橋のところや、流川のところです。今まで聞いたことよりも、はるかに生々しく、痛々しかったです。

原爆先生の特別授業を受講して、これから、大きくなって資料館に行つた時、この特別授業のことも思い出しながら見たりたいです。そして、今回原爆のような事があつてはならないと改めて思ひました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

僕は原爆先生の普段は聞く事^{こと}できない「原爆」の話^{ことば}を聞く事^{こと}ができ、とても勉強になりました。「原子爆弾投下都市」の決め方など最初から話してくれたので、とても分かりやすかったです。特に僕が興味を持った所が、爆弾が投下されて爆発した後、たつまきがおきるけんしょうの所でした。聞いた直後は、意味が分からなかつたけれども、すぐ原爆先生が意味を一個一個ていねいに間をあけて教えてくれました。しかも、資料に乗っていない事^{こと}まで教えてくれたので分からない事がなくなりました。最後は、地図や映像を見ながら解説してくれました。地図は地田義三という人が行った場所とその場所でした事が書かれています。実際にあった義三さんの行動見た事など、前に出て来て実際にやってくれたので、よく分かりました。映像は義三さんが体験した事を話している映像でした。僕は、義三さんが博物館で見た、ひんがボロボロになった写真を見て、「きれいすぎる」と言っていました。その写真を見るとゾッとして、とても信じられませんでした。なのに、「きれいすぎる」と言ったという事は、とてもたいへんだったという事が分かりました。

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> post@hiroshima9.com
僕は、この話を聞いて戦争はいけないう事をもう一度強く
思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は、原爆があったことは知っていたけど、この授業を受けてほんとうに落とされたのが、どれだけ苦痛だったのか、改めて分かりました。

特に、原爆が落とされて、まるこげになった人のうでの皮がたらんと肉からはなれることを想像すると、見てる側も心が痛くなるし、そしてなによりそのはがれてしまった人は、どれだけ痛い思いをしたのかなと、本当に原爆はこわいなと思いました。

へいたいおんも、何日も何日も原爆が落とされてから数々の死体を見てもくすねない心は、すごく強い心なんだなと思いました。

私は、同じ国に住んでいた人がこんな痛い目にあっていったことがすごく悲しかったです。この授業を通して、実際に原爆が落とされた広島・長崎も、原爆ドームや、原爆資料館に行ったりして、原爆がどれだけ苦痛だったのかや、どんな被害を受けたかなどを知りたいと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

池田さんの話を聞いて、広島原爆について知らなかったことをたくさん知ることができました。池田さんの話では、聞いている内に不思議と池田さんのお父さんの気持ちになりました。池田さんのお父さんは、原爆が落とされた直後の広島や、全身をやけどしたおおせいの人、自分に助けを求めてくる人などを見てとても苦しくて悲しくて、つらかったと思います。それでも他の人達と協力して死体をはこんだり、まだ幼かい男の子とお姉さんを助けたり、とても勇氣ある人だと思いました。こうは人の池田さんの話を聞いて一番おどろいたことは、原爆のいりよくです。上空600mで爆発した原爆の円のようなものの温度が表面は太陽よりも1000℃も高い7000℃で、中心が100万℃なのがおおせい、原爆はすさまじいいりよくな人だなと思いました。特別授業を受講して、もっと広島原爆について知りたいなと思いました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは、池田さんの原爆の授業を受けて、リアルな実体験から改めて原爆のおそろしさを感じました。池田さんが突然大きな声を出したとき、当時の人たちも突然に原爆の音かしてびくりしたろうと思いましたが、その他の話からも、原爆がいかにおそろしく、当時の広島の状態がいかに悲惨だったかがよく伝わってきました。その後の、原爆についてのくわしい説明を聞いて、まず原爆の温度が太陽よりも高かったことにおどろき、また原爆によるしゅんげき波より遅かったことにもおどろき、今度は体験ではなく科学的な面から原爆のおそろしさを感じました。

今回の授業で原爆のおそろしさを知り、ぼくは平和の大切さもしみじみと感じ、戦争のない時代に暮らしている幸せをとっても実感することができました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は原爆の話あまり知らなかったけど、今回池田先生から、池田先生のお父さんの体験した本当の事を聞いて、広島原爆の話は私かと思、ていた何倍もひどい事が分かりました。私はアフリカの実験のためだけに日本に原爆をおとしたのは許せません。池田さんのお父さんの話には、原爆の被害にあつた人を助けようとしたと言う話もありました。けれど助けたいと思、ていても手をさしのべたところで逆に体の皮がぬけ落ちて痛いどころじゃないほどに激痛が体をあつてしまうので、助けられないと言うのは、心が痛みました。私は原爆を落とす場所の一番の候補になつたのが京都で、それは家が密集していて平野だからと言う理由を聞いて、心の中が怒りでいっぱいになりました。家が密集していると言う事は、とれただけの人の命をうばうと言う事になります。私はもう日本で原爆の実験をするのは終わりにしたいと思、ました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は、原爆での被害者や死者の多さにおどろき、そして深く悲しみを感しました。

今の私たちは平和に暮らしていて、それが当たり前だと思っているけれど原爆のおそろしさや恐怖を感じたことがある人にとっては平和な暮らしを続けられることがどれだけありがたいことなのか分かるのだと思います。私たちは原爆の本当の怖さを全く知らずに、ただ「悲しい話だ」というふう
に思っていたけれど、今回の話を聞いて、原爆の被害者たちの苦しみがどれほどのものだったかを知ることができ、またこのようなことが二度と起きてはいけないのだということも改めて感じました。原爆先生の話は未来にとっても大切な話だと思いました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原子爆弾にもちゃん名前を付けるんだなと
思いました。原子爆弾を投下する時にも
直径5kmを超える海平野で船など今想像
がなかつた都市などの条件があってびっくりした。
原子爆弾を落とす時に京都は人間には重
要なものがあると気づいて原子爆弾を落
とさなかったのはえらいと思えました。

なんで原子爆弾の名前が「小波」って
というのが不思議です。衝撃波の速さ
が毎秒440mとすごく速いと思えました。
広島にいた人の数々14万人が「死んでいふ」とい
うのが怖いと思うました。

衝撃波が爆発したときその衝撃波が
はねかえったときの二回も揺られたな
と思いましたそれで戦争はしつけない
と思えました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

今まで僕は8月6日に広島、8月9日に長崎に原爆がおとされ、ということを知っていたけれど、実際にどのようなおとされたのだとか被害を受けた人たちのことなどはあまり知らなかったし考えることもほとんどなかった。

しかし、原爆先生の特別授業を受講して原爆のいりよぐやその被害爆心地などの今まで知らなかったことを多く知りました。

僕がとくにショックを受けたのは爆心地の近く家屋が全壊してしまったということや、広島市の人口の約40%が亡くなってしまったということです。歴史でかで見ただけのものとはちがった大きなショックを受けました。ぼくは特別授業を受講して原爆のおそろしさを知り、もう二度と原爆はふるまいたくないと思いをだしてはいけなしい思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

もし、自分が原爆が投下された原爆ドーム
(広島県産業奨励館)に兵隊として、死体を
片付けていたら、きっと涙がドッとあふれていたと思
います。この授業を受講する前は、世界遺産と
してしか原爆ドームを見ていりかたです。ですが、
原爆先生の話を聞いて、これからはもう絶対に
戦争をしてはいけない、むしろ戦争をなくしていかな
くてはいけないと思いました。被爆して、亡く
なってしまう方々から直接話を聞くことはでき
ませんが、これから先、ほんとに聞くことができな
いほど貴重な話を聞いて、すこくためになり
ました。戦争は、話を聞くだけで恐ろしくて、
被爆した方々は、火傷やけがなどを負い、僕ら
以上に辛く、苦しかっただと死んでしまいました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を^{じゅこう}受講して

表

ぼくは、昔の頃の原爆先生の話をしっかりと書きました。
 ぼくは、昔のことなどにはさへ人きょうがありません
 でした。でも昔の頃の話をきいてそんな、おこしい
 ことがあったかと思ひました。14万人が死んで
 しまっているしぼくにも、いろいろな人があつたよ
 うとして、あつたかおぼけてしまふなど、ぼくはモトスクのたぶら
 に原爆をくらひ、大けつとした人たちがあつたり
 大けつとした人どうしが、つかりとんでおなひにたつ
 たらとおもひます。そうしてくるしんていをしてやう
 ことをしりすこく、かおいら、いそ、なご、とやうかんじ
 うがこみあげてきました。ぼくもいちど、あつたを
 是たこぼして、けつとしたことあひますか？それは、
 くらひたけつとしたでも、それでもすこしいたか
 であつ、それを体でんしんていをつけていると思ひ、
 だけてん心がいたか、たです。ぼくはこのは
 なしをきいてこうしていまもくるしんでいて、こ
 入るもいるし、ぼくは二花でぼくがもしそのころ
 いたうまわっていたかと思つとすこく、その原爆をうけ
 た人があつたよとと思ひました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくはこの内容はすでに熟で習っているものでした。しかし、実際の被爆者の話(日記)を聞いてみると、とてもおそろしいことが起こっていたのだと思いました。一度、資料館で被爆者の人形が展示されていたのを見たとき、とてもおどろいたのですがそれが「きれいな」と言っていたので、さらにおどろきました。原爆は7000とあると聞いた時、もびっくりしました。ぼくはこの話を聞いて、戦争のない時代に生まれた自分はとても幸せなのだと思いました。ぼくは将来このような戦争が絶対になくなつてほしいと思いました。そして被爆して亡くなつてしまった方を思って平和ということについて真剣に考えてみたいのです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

600m付近から原爆が爆発した
ことがわかりました。原爆の21kmの
をうけた人たちは、肌が高熱
で、むくみほおに近い肉がむくみ、苦
しい思いをした人たちがたくさん
いたことがわかりました。
中には、びしょ濡れに、かんじょうな
建物の地帯にいた人が、きつ
てきしに生きていたことも話に聞
きました。川の中に入り、体を冷
たくしようとしました人たちも
いました。が、あまりにも高
熱で、水が蒸発して、水がなくなった人
たちもいました。35万人のうち
14万人が死んでしまったこと
です。が、ほとんどの人たちが
原爆の21kmのむくみをうけていた
ことで、苦しい思いをしていたことがわ
かりました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆のひた人をよくはよく知りませんでした。
ただ、原爆先生の話を聞き、
原爆がいかに恐しく多くの人を苦し
ませたかをよく理解しました。
僕は、原爆先生の言葉を聞いたとき
原爆先生のお父さんなど原爆のむた
す不こうを身体で感じた人々が年々少
くなっていき原爆のひた人をかたが
たなくなっているから原爆先生は、原爆のひ
た人を伝えようとしているのかよくわかりました。
なので、僕は、大人になつた広島か
長山崎にいらして原爆のことをよく知
っています。

最後に僕は気づきました。
原爆をおとした人は、さういふ悪感か
あったのかとどうかということでは
僕も原爆を落としたことを一生こころ
したでしょう。

僕は今の時平和ではかたと思いを



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

ぼくは、先生の話しにとても感動しました。

最初の方は普通に聞いておつたけれど、話を聞くうちにどんどん面白くなり最後にはおつて終わりがて残念な気持ちでいっぱいでした。

先生の話しは、兵士の体験で町には肉の見た人がトラックに乗るとしたり、体の形のない死んだ人がたたくといったところでした。

ぼくは話を聞いていくととてもおもしろいと思つたので二度と原爆を体験してみたいと思つた。

死なないうちにもぼくはおんがで、おんがで死んだ人にもおんがでまたいでおんがでネットがで、調べるとおんがで原爆をいふものを知つた。

原爆は二つありますが、おんがで戦争に無関係の人がおんがで死ぬのはおんがで疑問に思つた。またおんがで絶対に戦争がおんがでいふ。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生から話を聞きました。原爆先生の父、池田義三さんは戦争にあっいてその体験を聞きました。ぼくのおいちゃんはい小さい子どものころに戦争を体験していたからして、原爆の落ちて直げきした人々は灰になつたと聞いてとてもびっくりして、同時にこわくもなりました。原爆先生の父は皮がはがれ、骨まで見えていた、と言つた時はびっくりしました。ですが原爆ミュージアムの人形みたいな物で「はやさしすぎる」と言つていこともひどくておぞましかつたんだろうなと思ひました。しかし実体験者は、悲しむレベルよりひどいといつて、とてもひどか、たんだな、と思ひました。何回もひどいといふ作業ワークをのせてしまつてもいいません。戦争でなくなつた方、げんぱく病で亡くなつた方におくやみ申し上げます。特別授業を受講できてとてもよかつたです。



原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは、特別授業の中の7000℃の少年という意味を受講して分かりました。それは少年というのは広島県に投下された原子爆弾の名前、リトルボーイで、7000℃というのは、原子爆弾が爆発したときの外側の温度でした。そして熱線によって人間などの動物は一瞬にして水分が蒸発することをきいてとてもゾク、としました。原爆にまきこまれた罪のない人たちが次々と死んでいくことと想像するだけでこちらもとても悲しくなってきました。えら、がとけなり、全身にやけどをおいた人はとてもかわいそうで、池田義三さんもきぞつらかったと思いました。今、どこかの国でも無罪の人たちも殺されるという「戦争」が続いています。ぼくはこのようなことを一刻も早く終わって平和な全世界にしてほしいと願っています。ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

ぼくはこの話を聞いて原子爆弾のおそろ
 しさ、被爆した人達のおなishさを矢口、とても
 印象に残りました。ぼくは火傷をしたこと
 があ、とても痛かったです。でも被爆した人
 は、全身で火傷を負い、かかほ、かかほと落
 ち、手を前方にからさげながら歩いていると
 いうことを聞いて、ぼくが火傷をした時と
 比にならない痛さだと思いました。あと、火傷を
 してはいたけれど、放射線を浴びて被
 爆が原因とみられる痕にたおれて、ま
 ても苦しんでいる人もいると聞いたので、とても
 悲しい気持ちになりました。痛ましい姿の原爆
 ドームは、世界遺産に指定されました。なので原
 爆ドームを世界の人達が知り、核兵器は、不
 要だと思ってくれることをねがいます。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

ぼくは、一回 夏の授業で原火暴のことを
やりました。その時は、そこまでこわいと思
いませんでした。

しかし今回の特別授業で先生に朗
読してもらった「7000℃の少年」では、火暴者
の様子や投下された町の風景が説明
されてこわいと思いました。学校でも読
んだ「平和のとりに」を策^くす^ても^なった
人は40%という数字を出していました。

聞いている時に「まだ生きていた人
はいくらおぼた!!」と思いました。

話の最後らへんの現在の原火暴資料館
で先生の父が見た火暴者の人形を
みてきれいすぎる、と言ったことはもっ
と害が大きかっ^たということだ^と思いました。

これをふまえて原火暴についてもう一度
ふ返^{って}みたいと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

坪は作日の話も聞いて原はくとは
 せでもあそびしくかんたん人の命も
 うば、てしまあそびしいものかを感じま
 した。指の先かたを木でぶかしたた
 ていたことを想うたらとてもこあくあ
 そしいことだと思ひ放射線が
 浴びてしま、た人はかあいうんと思ひ
 ました。

原はく資料かんで指先がうしたた木で
 たん形を見てもまたこんな生むしもの
 ではながたとい、ていてが「はく」
 たちは、たいへんたなと思ひました
 原はくとはとてもさあ物なとあかり
 ました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は原爆とても怖く、恐ろしいものかと思っていました。しかし、この特別授業を受講して原爆を実際に体験して原爆が落とされた後につらい体験に合った義三のお話を聞いて本当に良かったと思いました。

私も広島に行って広島平和記念資料館に行ったことはありました。しかし義三さんはその記念資料館に行って皮ふがただれてはかれ落ちた人形を見ても「きれいすぎる」と言っていました。私はあれだけでも痛々しかったのに、実際はもっとひどく残酷な姿だったのだと思います。何だかあの人形を見て痛々しいと思った自分が申しわけなく思えてしまいました。7000℃と太陽の表面温度よりも高い原爆を浴びて、中には放射線を浴びて今でも原爆症に苦しんでいる人がたくさんいます。被爆者は24万人もいて死者は14万人もいます。原爆を私は許せないと思いました。広島の後には長崎にも落とされました。

原爆は怖く恐ろしいだけでなくとても許せないものだと思います。これからこのことを忘れずにずっと心に残しておきたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

今回のお話で、命の大切さをあらためて感じました。
私が考えていた原爆より、実際はとてつもなく危険な物だと
初めて分かりました。被爆者の人々はとてつもない辛い思いをしたと考
えると、胸が痛くなります。私は広島県に行、たことかたないけれど、
行きたくなりました。それは、原爆ドームなどに行、てみて、原爆の
おそろしさを自分の目で見たい、と思、たからです。最後の写真で
皮がはがれ、ボロボロで怖いと思、たけれど、あれでも
きれいななら本当はも、と怖いのなら私だ、たら気絶してし
うと思、います。1つの爆、たんであんなに大きな被害があることにと
もおどろきました。池田さんが生きていたことで、今私はこうして
原爆のおそろしさを知ることか、できたので、ドラム缶やトラック等に
感謝したいです。そして、1つの原子爆、たんで多くの人か、苦しんで
死んでい、ったので、このようなことか、二度とあ、ってはならないし、
原爆を計画した人に、このひどさを、しっかり伝えなければい、けな
いと思、います。私は被爆者の人のためにも、しっかり生きてい、こう
と思、いました。この授業を忘れず、命を大切にしようと思、いま
す。こういうことか、もうおこらないような社会を、今の子どもたち、
私たちが、つくりたいと思、います。

いげだよしろう



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は原爆先生のお話を聞かせていただき
私が思っている何倍も原子爆弾のおそろしさが
わかりました。このお話しを聞いて今私が平和
にきているのも奇蹟まがまがな人だっと思って感じられました。
今までしらなかった原爆のこと「リトルボーイ」「000」
など大切に心にしまっておきます。
さいごの方に阿なさんにはしっかりこのことを頭
に入れて勉強してくださいと言われているの
を見てびっくりこのことを分あれずに勉強して
いきたいなって思いました。5分間のよしろうさんの
重画見てさいごよしろうさん泣いているのを見て私も
泣きそうになりました。私は今までほんとうに一回も
泣きをしたことがなくてよしろうさんのなみだを
見た時はじめて人のなみだを見てうる」ときました。
私にこれから私にうまれてきた「奇蹟」を大切
にしてよしろうさんや原爆先生のことを分あれ
ずに大切に心にしまっておきます。ありがとうございま
す。そして私にもう泣きをおしえてくださりあ
りかどうございま



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は戦争の話をきいて戦争している中の人々の方さかすこく
わかりました。とくに私がビックリした事は、原爆はたいよう
ぶりもあつくなっている時があるということであり、
そして戦争時の死亡率が40%ということもとても
ビックリしました。
一番最初のドラムかんのかけやトラップがおくれているから
たすかたという事を聞いて一つ一つの小さいな事でも
一人の命がもしかしたらたすかるかもしれないと思いました。
先生のお父さんたちはつらいさきめもあり、た中で
がんばって人の命をたすけてくれて本当はありがたいと思いました。
そして、トラップではまっている時戦争で大やけどをしている人たろ
をたすけようとしたけど手がもぎとれてしまう。私はその話をき
いて、大やけどをしていてかわいそうなたすけてたすけられな
い先生のお父さんのつらさと大やけどをしている人のかわいさ
などがかんじられました。最後に私はこの話をきいて、
兵士の人々たちのやさしさや戦争のつらさなどがすこく
わかりました。私は戦争のない平和な世界になる事を
ねがっていたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私は、この特別授業を通して、今までは教科書や資料集などでは感じられなかった、戦争の悲しさも、改めて感じる事ができました。私は、原爆が投下された時の人々のつらさや、すべてを失った悲しさ、そして、一人でも多くの人を助けようと思っても、どうすることもできない、くやしさを感じ、戦争という、国をまきこみながら、国どうしで、どちらも地球に住んでいる一員として、尊重しなければならないのにおたがい傷ついていた、実際、勝ち負けに関係なく、死者やひがい者が出てしまう行為は、やりたくても、やらないことだと思いました。そして、原爆が投下された、広島にある広島平和記念資料館にある被爆者の人形を見て、皮向かいはがれ垂れているのを見て、ものすごくおどろきました。しかし、実際は池田義三さんが人形を見て「おれん」と言ったという話を聞いて、実際はもっとひどかったということを知り、さらにおどろきました。これからは、戦争のない平和な社会、未来になってほしいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私は原爆について、熟で知識としてしか
学んだことがありませんでした。

なのでこの授業で原爆はどんなに
ひどいものかと知ることができました。

爆撃機は約7000℃なのに太陽は
6000℃つまり、爆撃機は太陽よりも1000℃
高いのでそれをまともに受けてしまた
ら、どんなに苦しいのかそれを知ただけ
でもふるえてしまうぐらいです。

原爆の被害にあつた被災者の人々
を助けたくてもどうすることもできませ
ん。これをどんなにできないというおけで
はありません。今の私たちにできる
ことはとにかく平和というものの大切
さを後世に伝え、二度と戦争などとい
うひどいもの、人々の命をうばうもの
をおこらないうし、たれもかそれを
心がけ努力することだと私は思いま
す。爆撃機というのは一回で14万人の命を



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原子爆弾のことはけいけんしてないから、どんな大変さがあるのかはわからな
いけど話を聞いてて原子爆弾はど
れだけこわいのかがわかりました。
21番には『被爆者数24万人、死者
数14万人、死亡率40%』と書いてあ
てすごくびっくりしました。家族や友
達もそうなるかと考えるとこわいです。
7000℃の太陽よりもあついものが
地面から600mの近さであると思
えるとぞとしました。それで骨だけ
になるのか全部なくなってしまうと
言っていてすごくこわくて切なかつ
たです。太陽よりもあついものがすぐ近
くにあるなんて考えられなかったで
す。池田義三さんの最後の動画
では、原子爆弾がどんな感じなの
か、どんな気持ちだったのかがわか
り、今はすごく平和なんだなと思
いました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生のせんそうの話を知り、昔の人達は、すごく大変だったのがわかりました。はくたんをおとされる、やけどをおって、死んでしまった人もいて、へいたいさんが助けあうとしてもひら、がとれて、あべ、て、助かされなかつたし、助かして、もらえなかつた人達が何人もいて、すごくかわいそうだと思います。へいたいさんは、死んでしまった人達をはこぶのが、すごく、うらかつたと思ひます、助かして、あげたかつた人もへいたいさんの中には、はいいいたと思ひます、死んでしまつた人の中には、私と同年の子達もいたと思ひます。「死ぬ」など言つてしまふ人など、いるし、私も、いつ時があるから、この話を聞いて、かんたん「死ぬ」など、いって、は、いいな、と思ひました、せんそうで、生きてかつた人も、いた、と思ふから、命をもつと大切にして、かんたん「死ぬ」など、いひな、い、まう、にした、方が、いい、と思ひました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

命の授業をして、私は原爆先生のお父さんは、すごいなと思いました。なぜだかというところ、お父さんが住んでいた所に原子爆弾が投下されたからです。原子爆弾は、すごくい力が強く、一軒のうちに、全てが壊れとばされるほどの爆弾で、私の住んでいる所に、このような爆弾が投下されたら、私は、すごくわがわがしてしまいます。でも、原爆先生のお父さんは、わがわがせずに、爆弾にまきこまれた人を、何とかして助けたいという気持ちをもてるなんて、私には、できなくて、すごいなと思いました。

そして、今回の爆弾で、死亡率が40%もあったのに、わがわがせずに、爆弾先生のお父さんは、最後まで、力強く生きて、生き残っていたので、本当にすごいなと思いました。私だったら、わがわがして、その場にうずくまってるだけだと思ってしまうので、人を助けたいと思う心があるなんて、本当に、すごいなと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

表

原子爆弾、これはとても怖く、おそろしいものだ。

昨日のお話を聞いて思いました。

原子爆弾の条件、直径5mを超える、平野であること。

空しゅうがなかつたところ。候補になつた都市など。

これらの計画は「人をとりやたら殺せるか」という意味を表していると思います。

「人が人を殺す。」よく考えて読んでみれば、すごく怖い話です。

日本人は、これまでにも、いろいろな戦争をしてきました。

私は、この戦争があつて良かったと思います。

原爆が落ちてから、日本は、戦争をいひいて、平和な国となりました。これは、原爆のおかげだと思います。

原爆で、皮毛がはぎれて、肉と骨が見えるという話を聞いて、想像してみると、ぞく、としたけれど、実際は、むしろ怖いんだろうな。と思いました。

お話をしてくだつた先生のお父さんは、なみだを流してお話していて、そうとう怖がったのたんだろうなと感じました。

死亡率が40%なんて、おそろしいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆はこわいものと分かっていました。
しかしお話を聞いて自分が思っているもの
よりもずっとこわいものだと思います。
それと同時に人々のさまざまな生まれるものた
と思います。それに原爆で被爆された
人々はどれだけのやさしいかと思いました。
なので今の私たちの生活がどうであること
はどれだけの幸せなのか分かりました。
今の広島があるのはどうしの方々の努力だと思
いました。被爆者は「平和」を切実に
願っていると思います。なので私はこのま
平和であることを原爆の続けます。
そして今も苦しんでいる方々のためにぼんなど
自分にできることをしたいと思います。
今ある命は大切だなとこの特別授業を通して
改めて強く思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私は原爆のことを授業で学んでおらと聞いて、「あ、そうなんだ
としか思いませんでした。でも原爆先生の話を聞いて候補
になった都市があたこともはじめてびっくりしました。B29とは
知っていたけど、エノケイは知りませんでした。原子爆弾とは大まめ
のはてだんだんと思っ、ていました。空中で太陽のあつさくらい
の丸いものができると聞いて、びっくりしました。爆心から150m
の人がいっしょで消えて、黒いかげだけが残る。というのは
どんなにおそろしいだろう。と思っ、ていました。爆心から150mの
電話局のM1のなかで人がたすかた、ということは何ともび
っくりしました。義三次のおはなしのなかで手のひらがとれて
というのは、ひかがはかれたと想像するだけでこわさが
どんと人増してきました。もし原爆がいま、ここにおとされたら、
と考えると広島長崎の方向は日本人とうに大変だ。たんだなと
いっ、て思っ、ています。死亡率40%というのは、たいたい私たちが
77人が40人だとしたら16人か。と考えることも怖くわいて。原爆
のことを伝えられる人が減る今だから、原爆先生の話をきいた
私たちがより多くの人に原爆のことを伝えてほしいと思っ、
ます。教科書にの、っていることだけではななくて、も、と関心を
もってもらえるような話をしたいと思っ、ています。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆先生の父が"どれだけ"苦勞して、生きていたのか、とてもおわかりました。

私のひいおばあちゃんも、戦争にあつたのでよく話のことは、わかりました。

爆発の時、いろんな人々が、七くなってしまい、みんなが"は"っていきまうと、必死で、生きまうと、していることがよくわかりました。

私のひいおばあちゃんは、それをのりこえて、生きていき、とても感、心、しました。そして、ひいおばあちゃんが死んでしまつていたら、私も、お母さん、いとこ、みんなが"い"なくなつてしまいます。なので、私は、とても、ひいおばあちゃんに、感謝しています。みんなのひいおばあちゃんの世代では、生きのびていた人々が"どれだけ"いるかが、よくわかりました。

ひいおばあちゃんは、103まで、七くなりました。(たん生日の日)

原爆先生の父も、わたしのひいおばあちゃんと同じく、苦勞して生きてきたのだなあと、思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

11/20

私は、きのう原爆について はじめてくわしく
聞きました。原爆先生の話を聞くと、原爆が
とてもこわいものだと分かりました。8月6日に
広島に 8月9日にながさきに原爆が投下された
ことは、とっても悲しいことだと分かりました。
原爆先生の父が 苦しい人を助けたくても
助けられないときの悲しい気持ちも分かりました。
私は、原爆は とても こわいものだと知って
いかなしいといけなしいと思います。

私は 最初、「7000℃の少年」という たいめい
の意味がわかりませんでした。でも原爆先生の
話を聞いて、7000℃の少年は「リトルボーイ」
という原爆のことなんだと分かりました。
いままでは原爆のことをあまりしんげんに考え
たことがなかったけれど原爆先生の きょうな
話を聞いて、8月6日と8月9日におこったこと
は決まっていたはずなのに いけなしいことだと
思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆先生の話で人の皮がはがれて
 しまうと聞いてすごくイヤな気持ちになりました。
 たたでさえ原爆で体中にやけどを
 おって手も動かさないのに手をにぎって引はる
 だけで手の皮がはがれてしまうというのが
 すごく痛々しかたです。私は話を聞いただけで
 イヤだったのに、原爆先生のお父さんはその
 痛々しさなにもできない苦しさを味わったという事
 を聞いて何も言葉にできませんでした。
 最後の原爆貸料の話で皮が手から垂れ下
 がっている模形を見て本当に人間ではない
 物だったんだ。こんなにヒドイ状況だったんだ
 と思った後に「キレイすぎる」という言葉を聞いて
 「え」と思いました。私は今回の話や本で原爆
 ひ爆者の手から皮が垂れ下がっていたのは知って
 いたが、そんなにもヒドかったんだとまたショックを
 受けました。そんなヒドイ原爆でも助かった人
 がいてすごくうれしかたです。原爆先生のお父さんのヒ
 デレタを見て泣いていたのを見て本当にツラかったんだ

というのを深く感じました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

11/20

先生のお話を聞いている途中から、なみだが出てきました。
見て見ぬふりをしていた戦争や原爆のことについて初めてちゃんと聞いて、理解できました。自分には関係ないと思っていたことでも、先生のお話を聞いて今の私がいる世界に感謝しなければいけないと思いました。
広島にある原爆ドームにも実際行ってみたいと思ったし、博物館にも行ってみたいと思いました。
最初、先生のお話を聞きはじめた時はなんとなく聞いていたけど、時間がたつにつれすごくむねが苦しくなってきた。がまんできずよく分からない初めての感情で泣いてしまいました。
ずっとにげていた戦争や原爆のことをきちんと聞けたし、先生のお父さんの体験談をきいて「兵たいさん…目かけて…」の聲がずっと耳の中に残っています。私がその時代に生きていけば目かけてあげられたかもしれないのに、広島市の人口の7割がなくなるということをきいて、残った先生のお父さまと一緒にいた兵たいさんと、直せつ話をしてみたいくなりました。先生の話を通してとても原爆に興味をもてました。本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

改めて戦争はとてもの怖いことだと分かりました。
まず広島県に投下された原爆。「リトルボーイ」。これは少年という意味だそうです。私がとてもおどろいたのは原爆の熱さ、衝撃波、大きさ…。原爆は周りが7000℃まして中心は100万℃程になるそうです。原爆の真下にいた場合3000℃もの熱がきます。いっしょんで川は熱くなり、人間はもえてしまうそうです。2つ目の衝撃波。衝撃波の速さは毎秒440m。そして衝撃波は2回あるそうです。1回目は爆発したとき。もう1回は1回目の衝撃波がはねかえったものだそうです。そして大きさ。直径1200m。±地面からおよそ600mの所で爆発したそうです。私はその時の怖さや苦しさは考えられるものではないとしました。広島人口35万人に対して被爆者数24万人。その内、残念ながら死亡してしまった方は14万人。死亡率40%という数字でした。5人に2人が死んでしまった広島。私は受講して原爆の怖さ。かなしみ。苦しみ。すべても知りました。やはり戦争はとてもの怖いことです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

1/20

先生が最初に「話を聞いては、そのうち1000℃の少年の意味が分かる
 とおっしゃっていましたが、私は7000℃の少年の意味は「原爆で被爆された人」と
 言う意味だと思いました。そのような人が24万人もいて、その中で14万人の方が亡くなっている
 のは前まで「そのような実感は、なかったですが先生の授業で本当にそのようなこ
 とがあなたの心」ということを感じました。また、最後に見たビデオでは、実際に
 広島市の原爆投下の瞬間に立ち会った人のお話を聞いて、原爆を体験した数少
 ない人の1人の話を聞くことが貴重だと思いました。その方が涙ぐんでいた所を見
 て改めて本当の実感したし、心から原爆のすさまじさ、恐ろしさを感じ
 られました。このような分かったこと、感じたことを参考に自分、原爆の事や
 世界平和の事をもっと調べようと思いました。原爆を教訓に、私から大人になっ
 て今の様な平和で豊かな日本を守りつづけていきたいと思います。衝撃
 波や熱波のすごさを大人に知れました。90分間ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

じゆこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

私は原爆について、よく知りませんでした。そして、平和の大切さ、そして、戦争は改めて、よくないなと実感しました。原爆をくわしく知ることができました。原爆を落とす候補になつた6つの県(府)で京都もなつたとは、知らなくともびっくりしました。広島での原爆のえいきょうで4万人も亡なつてしまつたのはとても悲しかったです。助けを求めている人を助けていてとてもかえりないなと思いました。なぜなら自分もつかれや、こわさがあると思つたからです。原爆が太陽よりもあつく、高さ600mほどあつて、下にはかげもできない真空状態とてもすごい力があるんだと思いました。私はこの特別授業を受けて戦争、原爆のこわさをくわしく知ることができました。今どんどん進化していますが、決して戦争があつたことを忘れてはいけないと思いました。私達は、このでき事を伝えていく側になつたら、原爆先生みたいにくわしく伝えるよう努力をしようと思います。

ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

ぼくは、原爆先生の特別授業を受講して、印象に残ったのは池田義三さんが、元安川で原爆で七くなってしまった人たちの死体を火葬去死していたところです。川にうめつくされた死体を集積場に押し込んで火葬去死するというのは、とてもつらかったり、心がいちたたりすることだと思います。

他にも流川で防火用水の桶の中に、うずくまっていた死体があるというのもうらかったと思います。

広島に投下された原爆でおきた衝撃波の速さが音速をこえたり、はくはつの中心は100万[°]にもなるということなどから原爆はとても強いものだなと思いました。また、7000[°]の少年というのは広島に投下された原爆のことだともよくは思いました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は、今回の特別授業を受講するまで、あまり原爆についてのことを知りませんでした。義三さんの実体験の話は、想像以上におそろしく、私ほとてもこわかったです。リトルボーイが、7000℃だといふ話を聞き、今まで太陽のあつさすら自分にとって遠いものだったのに、それよりも1000℃もあついものが600州上にあると思うと、本当におそろしくなりました。そして、原爆はあつただけでなく、衝撃波や放射線まであつと知り、原爆がどれほど当時の人にとっておそろしいものだったのかというものを、今回の特別授業を通して少し知ることができました。これからは、今自分がどれほど幸せかを感じながら生きていきたいと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ほととは原子爆弾が落とされた時の様子は詳しく知らなかったけれど、原爆先生の授業を聞いて、そのお話をすることができました。義三さんが見たという皮肉が、火割たたね、さあるとはがれはうらな人を見たらほくたたら、たえられなくなってしまうと思っても死体の運搬や火葬却を行ない、軍の指示に従った義三さんをおい人だと思っても二度と戦死おしはけないと改め感しました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆ドームは爆心直下にあつたのにくずれずに今もあることは
とてもすごいと思いました。原爆がおちてあつて
川にとびこんだ人でも川の水が蒸発して焼けてしまった
と聞きおどろきました。また放射線を浴びてしまい
原爆しょうという病気にかかり今も苦しんでいる人が
いる。ということはとても悲しい事だと思いました。
たくさんの方のことを特別授業で知りました。知らなかった
こともたくさんあつたので今後の生活に役立てられる
ようにしたいです。広島に投下された原爆は3.12mもあり
4tも重さがあるものだと知りおどろきました。そんな大きな
原爆が今の東京に投下されたらと考えるととても
こわくなりました。当時の広島の人のもっとこわかったんだ
と思うと、今の時間はとても幸せな時間なんだと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

11/20

原子爆弾投下都市の条件の①では直径5kmを起る爆弾ときいてすごくびっくりしました。

・広島に投下された原爆リトルボーイ、長さ3.12m 重さが4トンもある爆弾です。

・爆弾がうたれたたかさには9632mもくときのぼとから4kmもはなれていきます。

・広島の人口が約35万人

・被爆者数 24万人

・死者数 14万人

・死亡率 40%



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅうごう

表

原爆先生の話を通して、池田義三が経験した戦争のつらさがよく分かりました。前半の話で原子爆弾がどんなに人々を苦しめたのか、兵隊達がどういう思いで人々を助けたのかがとても印象に残っています。元守川などで真赤になった死体を想像すると戦争はすごくいけないことだと分かりました。私は原爆のことはともともと知っていたが、実察に経験した人の話を聞いたら、本当の苦しさや、原爆がどのように人々をしげきしたのか分かり、みんなとても悲しい思いをしたのか分かりました。これから絶対に戦争がおきないように周りの人に戦争の苦しさを伝えたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆のいかに強さを実際の数値で具体的に説明してくれたところが分かりやすく、原爆の強さにおどろきました。太陽の表面温度よりも熱いということには特におどろき、被爆した人は想像を絶する熱だったのだらうと思いました。私のひいひいちゃんも戦争に行っけがをして帰ってきたけれど、原爆の被害にあっていた人の方から、思い出したのかもしいかと思いました。2011年の東日本大震災でも原発が問題になっているので、放射線は怖いものだと思いました。また、資料館で、被爆した人の複眼を見て「おどろき」と言ったことも、うげまの的で、夏に書いている戦争の映画も現実とは異なるところがあるのだらうと思いました。特別授業を受けて、戦争の悲惨さは、伝えつづけていく、またうらと感しました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私はもともと原爆のことは知っていました。

でも、この話を聞いて良かったです。

原爆の中心は100万度で、とても高い温度で、とてもおどろきました。

そして、中心から600mは外れている地面でも

3000℃もあって原爆がどれほどひどいものか分かりました。あとの写真(逃げている人)を見て、

すごく痛そうだなと思いました。が「きれいすぎる」と言っていたのを聞いて、思ったよりもひどいものを知り、とても良かったです。

でもこのまま原爆のことを知らなかったら、とだけ原爆がひどいものか知らなかったら、とだけ聞いて良かったと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生^{じゅこう}の特別授業を受講して

表

私が、原爆について、とてもおどろいたことは、
 原爆が中心100万℃、表面7000℃もあったという
 ことです。そして、人間の体の水分がすぐ^に蒸発
 してしまうという話を聞いたときです。1秒間の
 間にこんなにもたくさん^の人の命がなくなっ
 しまう原爆は、とても怖いものなのだと思いま
 した。そして、よしぞうさんがきれいすぎると言っ
 いたアジ品を見て、私は、これよりなごり
 あがたは、とてもそうぞうでませんでしたか
 よしぞうさんは、そんな中でとてもがんばっ
 いたことがとてもすごいと思いました。
 原爆の危険^さやこわさが分かりやすく、けれど
 とてもさんこくだったことも分かりました。
 二度と原爆がおとされることがない^とい^いと思
 います。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は原爆先生の「7000人の11年」のお話を聞いて一番印象に残ったことは、原子爆弾のせいで、焼けるしんでいた人々です。皮が肉から、はがれて骨までいっていたと聞いて、すごくこわかったです。お礼のボーイを落とさせて「しゃんで、人がきた」としうげんしている人がいて、とてもびっくりしました。人が、いっしょんで、消えるのに、その人はトイレの中において、生きのこったから、ききました」と思いました。アメリカ人がラジオで測って(効果を)楽しんでいるように思ってきました。

原爆のせいで、熱線や放射線をくらって人が、原爆しょうにかかってくるしんでいる人が、今にもいてかわいそうだ」と思いました。原爆先生のお話を、忘れてはいけない、家族やいともおしえてあげようと思いました。

戦争は、やめてはいけないと知りました。戦争をしても人が死ぬだけで、意味のないこと



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

最初に、原爆先生が書いた本、「7000歳の少年」。7000℃という
 のはなんでもなくて分かりましたか、「少年」というブレスがほら
 ていたことに私は不思議に思いました。「少年」それは広島に
 投下された原爆の名は「リトルボーイ」。「リトルボーイ」とは、日本語で
 「少年」という意味。つまり、簡単に言うと、「7000℃の原爆」という意味だ
 のです。私はその意味を知ったとき、感動しました。
 パラシュートで原爆が投下されたというわけで、実は、パラシュートにつり下が
 っていたのは「ラジオペンチ」というもので、その「ラジオペンチ」を原爆と見間違えた
 人が「パラシュートで投下された」というお話をされたのです。
 池田義三さん(原爆先生の父)は17歳の若さで兵士になり、原爆の投下
 後の広島の人々を救った人です。池田さんは命の恩人です。
 原爆で死ぬやけをされた人、あるいはおぼろげにくぼいているおぼろげな
 助け、命を救った、永眠しているおぼろげを安らかに永眠できるように救いました。
 私は池田義三さんの動画を見た。原爆のつらさによく分かる1つの動画で
 した。私自身も涙ぐみられました。原爆が人であったことだと思えた自分が
 いたことに何度も「みんなはさし」とかの中で思いました。
 私自身は、とても平和な暮らしかできています。これから続いているし、
 できることならば、この戦争の犠牲者の名前を消したくない。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

・原子爆弾によってたくさんの人が亡くなってしまったことに驚き、亡くなった人がかわいそうだと思い、大人が「戦争は二度と繰り返してはいけない」と教えてくれる意味が分かった。

・特別授業のはじめに7000℃の少年の意味が聞いていれはるかなと言っていた。受講して7000℃の少年の少年は原子爆弾の「リトルボーイ」で7000℃ほどの原子爆弾の外側の温度の7000℃のことだと分かった。

・衝撃波の速さは音速よりも速い、毎秒340mで考えもつかないうる速さに驚いた。

・原子爆弾ではただ死んでしまふのではなく、皮膚が焼け、助けの手につかまっても皮膚がはがれて痛みが増してしまい、苦しんでしまふ生きていても原爆病などの後遺症が残ってしまうのが分かった。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆について、これまでは落とされた場所など（か
 かりがたが、池田先生（長崎）「原爆爆弾が
 落下都市の条件があること（広島、小倉、長崎）以外の
 候補とされた都市がなかったこと
 ながら、よくかまっていたことは、原爆爆弾が、
 落ちてきた。
 そのいふくは、はくの思っていた以上だったことにおどろ
 きました。
 池田先生（長崎）を聞いて、原爆爆弾がとれほど強力なのか、
 それと同時に、戦争にあってはならないことなど思っ
 ました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は一回戦争の話を少し聞きました。だけど少し聞いただけで戦争のおそろしさが分かりました。先生の話を聞いた時、先生のお父さんが戦争の事を話そうとした時泣いていて、それほど辛かったんだろうと思いました。おじいちゃんも戦争の事を話していました。だけど、おじいちゃんも泣いていて私たちが思っている以上に苦しかった事も分かりおじいちゃんの話聞き私も苦しかったです。私は一回大阪に行き、原爆資料館に行き、戦争のおそろしさを学び、戦争についての勉強もしたいです。この勉強をし、戦争という言葉は無くなればいいし昔の戦争も無ければよかったと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は、原爆について、あまり勉強した
 ことがなかったのので、今回いろいろな
 ことを知ることで、よかったです。
 と思います。今回の話を聞いて、原爆
 のことをたくさん知りました。原爆
 によって、たくさんの方の命がうしなわ
 れ、少し悲しくなりました。私の祖父
 父は、原爆のころ、また"とても小さ
 く、5才くらいで"した。また"小さい
 のに、安全な場所へ、親とわかれ、
 ひきこもりました。と言っていました。祖父
 も最初は友達といっしょにすーとい
 ることができて、うれしかった。と言っ
 ていたが、日がたつにつれて、だんだ
 ん親にあいたいという気持ちがか
 こみあげてきて、ほとんど毎日泣いて
 いた。と言っていました。今回特別授
 業があり、また"また"ほかに知るこ
 とができて、このことをあらためて知るこ
 とができて、

した。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

11/90

私は、この特別授業を受けて、原爆はあては
 ならないものかと思いました。原爆については
 知っていたけれど、原爆の被害については
 あまり知らなかった。聞いてみると、
 ひろくりました。また、広島と長崎以外にも
 候補地がある。を知らなかった。おどろきました。
 もし候補には、横浜は原爆がおちてはら
 おぼあかんが横浜にいるので、とても怖くおどろ
 びました。学校で原爆が広島と長崎に落ちたこと
 知っていたけれど、こんなに被害がひどいものか
 知らなかった。たかさんの人は原爆の被害を
 知っていました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは、原爆先生の特別授業を受講して、原子爆弾は、
 すごくこわいものだと思いました。ふせは、
 広いほんの建物などをいっしょんでる皮壊し、
 人間をいっしょんでとかしてしまえば、^との高熱をたし
 14万人もの人をころし、24万人もの人を被爆さ
 せたからです。だから、その原子爆弾を広島長崎に
 投下したエノラ・ゲイが陣地の島に帰った後の罪悪
 感は計り知れないと思います。この原爆投下と
 戦争は、過去のこととしてあつかうのではなくさらに
 その先の未来にも伝え続けていかなければ
 いけないと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは原子爆弾のことは知って
 いましたがこんなに被害が出るよ
 思っていませんでした。

なんでも悪い事をしていないのに、死
 んでしまったり、大けがをしなけ
 ければならなかったのかと思
 いました。しかも死体を
 1体1体担いだり被爆者たちを助
 けなければならなかった義三
 さんたちも大変
 だったなと思いました。

「ぼくは改めて戦争をしては
 いけない」
 と思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

よく戦争のまんがなどでは、ハロシューと爆弾が落ちてくるような場面を見たとがあつたけど、それは全然違つた。かんちがいされた理由は、ラジオゾンテという器具をつけたからであつた。(ラジオゾンテとは、レーザーで天候や暴風が分かるもの)

爆弾を投下してから2回もの衝撃波があつた。(エノラ・ゲイがのっていた飛行機に) 1回目は爆発、2回目は暴風が地面にぶつかり、はねかえつたから。原爆によつて死んでしまった人の数は、14万人。5人に2人が原爆で死んでしまった。原子爆弾投下の条件では、直径5kmと云ふ、平野であること、空襲がなかつたことから、広島、小倉、長崎が候補になつた。(その他にも横浜、新潟、京都が候補にゐた) 原爆によつてできた熱線や放射線によつて、これによつてくつしめられてゐる人がいる。



名前は裏面に記入してください

原爆先生^{じゅこう}の特別授業を受講して

表

ぼくは、原爆先生の話を聞いて、たくさんを知りました。

ぼくは、原爆のことを塾の授業でしか聞いたことがなかったのですが、あまり原爆の威力などは知らなかったけれど、広島^{ヒロシマ}の町を一瞬にして消し去り、灰たしかの世界にしたという話を聞きおどろきました。原爆の被害を受けたことによる苦しみを味わった人々は、とてもかあいそうだと感じました。また、その苦しみを乗り越えて、今も生きている人達は、すごく強いと感じました。

ぼくが、原爆先生の話を聞いて、一番おそろしかったことは、階段に座っていた人が一瞬にして黒いしみになってしまったことだと思います。それが現実では考えられないことだったのでおどろきました。

ぼくが、この授業を受けて思ったことは、もう二度と、このようなことが起こってほしくないということです。たくさん命を奪った原爆投下をもう「返さないでほしい」と感じました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

私は原爆先生の話聞いて、先生のお父さんの体験がとて心に残りました。先生が原爆の音を出した時、「ヒューヒュー」という音がまるで自分もその場所にいるような感じがしてきょうふをかじました。私は三年生の時に「ひろしまのヒカ」という本を読んでいたのですが、怖くて読むのがつらくて途中で読むのをやめてしまいました。でも先生が二度とこういうことが起こらないようにと書いて、今はちゃんと聞こうと思いました。爆心地に近づくとつれもはや人間とは思えないほどの人々を想像するだけで私がお父さんだったらうすくまってしまうと思います。先生とお父さんたちがひろしまの博物館に行った時お父さんが言った言葉もしょうげき的でした。「きれいすぎる、たった一言だったけど、お父さんが見たのはこんなやさしいものじゃなかったんだな」と思いました。先生がいたことを忘れずに授業などで思い出そうと思います。また「7000°の少年新ヒロシマの九日間」や「たれも教えてくれなかった原子爆弾の歴史」などの本ももっとくわしく読んでみたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

いままではテレビや本、塾の授業などで
 大変だったなあと思っていました。それで
 その特別授業の話で原爆のいかにあつろ
 した原爆が「投下された後の人々の様子など」
 をおいりました。特に「体全体が」大きな力
 を負って指をなめ前に出してあると言った
 時には「指」おどろきました。そして手をつかんで引っ張
 ったおかげで「皮膚が」はがれて、骨までとどくぐらりの
 大きな筋肉のかたまりが「落ちたとき」に、いままで
 ソンに大変だったなあと思いました。そしてこれ
 だけ「辛かた」かを初めて理解しました。この
 原爆の話を知りてから二度と戦争が起
 きてほしくないと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅごう

表

広島市の人口35万人のうち被爆24万人
はすごいと思、たけど、死亡率40%は、5人に2人

くらいなので、そんなでもないと思、いた。

音速は気温が、高ければ高いほど速いので、

8月はまた、暑いので、衝撃波の毎秒440mよりかは
おそいけど、もっと速いはずだと思、いました。

気温が15度で、毎秒340mになったからです

候補になった者の中で、私が一番原子爆弾
を投下されたくないのは、横木公です。理由は
東京が一番近いからです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原子爆く大人のいかがすまじりことばして、
 生々しい話を聞いているうちに土壇にどんと
 人おそろしくなるといった。とくに、カリダんに
 すあつてりる人が近くにはくたんが落ちたこと
 によつてくろいじみになつたという話をあそ
 ろしかつた。また、原子爆弾投下都市の半径
 に直径5km以上の都市である。というところ
 があり、原子爆くたんのいかは5kmにわたることか
 かり、とてもこわいと思つた。また、広島市の人には約
 15万人死者数は14万人であるから、一つの市は半
 かりするほどのいかにある。矢口わい矢口ほどにお
 そろしかつた。そしてこれはどのいかにあつても戦争
 をやめなさい当時の日本がアメリカをどうかたしりと思
 つた。そのときに広島市にいた人に同情するし、
 このことをふまえて、もうこれから戦争を人とな
 くしてほしい、しなうてほしいと思つた。戦争に使
 はず、国と国どうし手をとつてよければ未来に
 つなげていくことをのぞいてほしい。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して、
 原爆のおそろしさを知りました。
 高さ600mの所で爆発しても、地表付近
 は3000℃の熱です。鉄がとけるのは、
 1500℃です。こんなに熱い世界に入るのは
 想像しただけでは、苦痛です。また、こ
 の3000℃の世界に入って、大やけどをし
 ても「兵隊士人助けて」と言える人間
 は、自分の命を守りたいという意志がとて
 も強くて、すごいなと思いました。今回の授
 業で、いろいろなことを知りました。京都な
 どの都市も、候補になっていたことが、原子爆弾
 投下都市は条件をみたしているところのみ
 だということなどです。戦争はとてつらいこと
 を知ったので、これからは戦争をおこなわない
 したいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

努力でしかやってなくて、どんな気持ちだったのか、どんなに
 悲しいことなのかなんて、全然知りませんでした。でも、こ
 の授業を受けて、原爆や広島に対する考え方が変わリ
 ました。その時の様子なんて見たことないからわからなけれ
 ども、まんちょう感と苦しさがいかにひどいかわかり、人々だけだ
 なく原爆が落土れたときの熱さが予想はできなけれ
 けれど、とにかく熱いことがよく伝わりました。

こんなにひどくなる原爆を、効果的に爆原できるおに計画を
 たてたりするアメリカも少し残念、と思いました。しかし、京都
 に落とされていたら、日本の文化が一番強張られてい
 る県をこわすことになるから今の京都はもうないと思、はあ
 り、今よりも日本は強くなると思、います。

先生のお父さんは、見たこともないような人々の姿を間の
 あたりにし、それでも助けられなかった悔しさは本当に
 つらいと思います。これからは、私もみんなにしっかりと伝えて
 広島、長崎の人々を応援していきたくて心から思
 えるようになりました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原子爆弾の被害や影響は数字だけで覚えていたのに、原爆先生の話を聞いたときは、原子爆弾のおそろしさや「前」よりもはるかに強く実感できました。また、世界遺産で有名な原爆ドームが広島県産業奨励館という名前だったことや、キノコ雲がどうなる原理なども新しく学ぶことができました。

原爆先生の話を聞いて、原子爆弾のおそろしさを未来に伝えていく大切さや、世界から核を無くすことの大切さを知ることができ、僕のみ生にとっても大切な経験ができましたと鬼います。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は、いいおばあさんが原爆爆発後に広島に入ったことを聞いたことがあつたが、今回は、もっと詳しく知ることができた。原子爆弾は、とても人類が使うべきではない武器だということも、あらためて実感いたしました。近年原子爆弾は、もっと進化しているはずであり、広島と長崎の原爆より、もっとおそろしいことになったので、絶対に使ってはならないということも実感しました。24万人を被爆させ、14万人を殺した原爆は、この誤ちをくり返さないために後世につなげていくべきものがあると思います。原爆から時間がたつにつれて、人々から原爆は、たゞたんと忘れられていくと思われ、また、またのやうなことが起るかもしれないので、原爆の被爆者を伝えていくべきだと思います。私は、原爆博物館の人形を見たときは「おじい」と思いましたが、義三叔父によると、もっと被爆者であったのだと云います。17000との少年とは、原子爆弾リムボンのことだと思われ、多くの命をうばつた。この少年と、この少年を作つた人類が、私は、おそろしいです。このおそろしいことを伝えていくことが、私は、大切なことだと思ひました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原子爆弾一つで100万ともしたり、
衝撃波の速さが440m/秒もあつたの
で原子爆弾のいかに怖ろしいことが
できた。また陸軍として広島市に
いた池田義三さんはとてもすごいと
思った。ぼくは1945年8月6日の広島原
爆投下は塾のテキストで見ただけ
でしたが、このような授業で原子爆
弾や戦争の悲惨さをとんでも感じまし
た。とても貴重な授業を受けること
ができたからです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆先生の父である、池田義三は、17才で戦争に行きました。よしぞ"からロードマップでは、①陸軍幸ノ浦基地跡や②の宇品西二丁目などさまざまな場所があって、昔は、こんな風だったのだと思いました。私が一番気に入ったのは、候補になった県で一番よく推されていたのは京都です。しかし、京都は除外されました。なぜなら京都には人間にと、この文化がのびのびあり、げんばくをおとされてほしくなかったです。この授業をふまえても、原爆のことをもっと知りたいたいと思ったし、この先役に立つなと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の授業を聞いて、今で知識として覚えてはいるが、原爆をより深く知る事ができず、先生の父親がくわが家で暮らした、あの光景を見たのかを、父親の日記を拝読してより分かりやすく説明して頂いた。私は「友達が真赤に焼けてねん液がポタポタと落ちる」原爆の被爆者がどのように見たのかは分かりませんが、日言を聞いて、その光景を見た人の気持ちだけでもはきり伝わってきました。私のおばあさんが戦争で母親がなくなってしまい、今でも悲しいため、戦争がとれただけ残さずであるはいけないものなのかがわかりました。そして後年の授業ではいろいろと原爆の説明をしてきて、その中で知らなかったことがいろいろありました。例えば京都や横浜が原爆の候補であったことや、原爆の温度が太陽よりも高いものであるのが、めづりごとくでした。この授業を通して、私は原爆のこわさを知ることができ、知ることが一つ増えたと感じます。これは戦争の怖さを理解して、子供生かすには、



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原子は「くだん」で14万人も死者数をだしたとは
 しりませんでした。話をきいていてもどんなにおそ
 ろしかったかよくわかりました。川で人がゆて
 だこのようによすがたけあてまた話ではとてもそ
 うえうしただけでもおそろしさがうかんでしま
 います。たっさいしゅんで「おおくの人か」しんじょう
 といいおそろしいで「きご」とを「おそろしいで「きご
 とを「おそろしいはならぬ」と思うきもちが一た
 ました。こんで、この話をあすれないうように
 していきたくしに思っています。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは、原爆先生の特別授業を受けた
 とき、原子爆弾のおそろしさをあらためておぼ
 えました。ぼくは、原子爆弾のえいほうか「衝撃
 波と放射線」を「けた」と思っていました。しかし、
 原爆のえいほうは熱線もあることを知りました。
 そして、その熱線が一番強かったといふことに気がつ
 きました。もしかすると自分は原子爆弾のいふくを半分も知
 らなかったのではなか」という考ふ「意見をよきりお
 原爆の強さを知り、原爆が「これほどおそろ
 しいことを作り出せるがを知った。今、ぼくは
 この世界に原爆はまた「はやあま」人間が「もう少し
 賢くなるまで原爆はこの世から姿を消すべし」と
 考ふようになりました。こんな考ふ方が「できるよ
 うになったのも原爆先生のおかげです。おぼ「い授業を
 ありが「うに「おぼ「いました。



原爆先生の特別授業を^{じゅこう}受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆のこわさがあらためてよくわかりました。
わかったといっても、池田ちゃんのお父さんみたいに
経験をしたわけではないので、本当にわかったと
はいえないですよ。原爆は天候が悪か
たらおとさぬなかったのでは...とも考えました
が、外国もあきらめず、暗いことを待ってう
いたと思います。また候補になった都市の
1つの京都ですが、人間にとって重要な文化財
があったからさいしゅうぎに除外されたと
聞きました。"ひどい"ですね。京都が除外
されることがいやなのではなく、広島や長崎も
日本人にとっては大切な場所なはずだ
なのに、なぜ京都がそのような理由で除外
されるのでしょうか？私が"ひどい"と思った理
由はこれです。あとエーラ・ガイですが、キベ
ット隊員のお母さんの名前(のだ)と聞きました。
心底、(こんな小さなものに大切なお母さんの名前
つけちゃだめだろ...)と思っていました。お母さん
がこわかったんですかね...？原爆は人々を

傷つけるひどいものです。14万人も死んで、
24万人も被爆者が出る。「そうとう」です。

それなのにまだ北朝鮮は核実験をしています。
条約もいろいろできたのに...、北朝鮮の人たちは
核実験をやめてほしいです。

最後に池田さんの授業はすばらしかったです。
お父さんの日記などをもとに、
後に後に伝えていくこともすばらしいと
思いました。

ありがとうございました！



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

はじめは、授業を通して、気になること、初めて知ったことの2つがあります。まず気になることは2発目の原爆をなぜ第2候補の小倉に落とさなかったことですか。次に初めて知ったことは原爆はパラシュートで落とされなかったことでも、よくも原爆はパラシュートで落とされたのだと思っていましたが、パラシュートで落とされたのはラジオゾンデであつたのを知り、おどろきました。また原爆は太陽より温度の高い球体を作って真空状態にしたのにはおどろくとともに恐れが出てきました。そしてその熱によって人が蒸発してしまつたこともおどろきました。なぜなら人が蒸発したということは普通は聞かないからです。また衝撃波の速さは毎秒440m、音の速さをこえていくことにもおどろきました。人口の40%が原爆によって亡くなったことに恐ろしく感じました。授業を通して初めて知った



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

ことにより、原爆などの核兵器もこの世界
から無くすのが出来ないと気が持
た、強まりました。また原爆のことを
もっと知りたいとも思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

池田さんの話をきいて、原子力爆弾の恐ろしさや悲惨な結果を改めて思い知りました。これは私が個人的に聞いていたことなんでしょうけど、アメリカは原爆の威力を知るために実験したともいわれているそうです。リトルボーンを作る時からもう威力を知っていたはずなのに、たくさんの方が死ぬことはわかっていて、なのに日本に落としたのかという怒りがあきました。池田よしろうさんがたいけんした、ひばくした人々の遺体を見つけたのは、こぶという作業で、ひばくした人々の体は人間の姿ではなかったことに、さんごくさがあります。身元を確認するほどの手間もないほど、大勢の人が死んでいきました。原爆資料館にはひばくした人の、ふくげんされた人の像の写真を見てらね、とおどろき身ぶるいました。でも、よしろうさんはその姿をみ、いれすぎる、と言ったということは、それよりひどい姿になった人がいるということだ、と思います。よしろうさんが遺体を処理する時に、たくさんの方が歩みよって、兵隊さん助けて...、といい、なるべくたくさんの方をトラックにのせ、安全なところへつれていったそうですが、徒歩で遺体処理にいった時は、もう死体だらけで、生きている人も歩くことができない、人間の姿ではないうことに、助けることができない、無念さに明けくた、悲しんだ、と言っていました。私たちが、周囲のさんごくさに負けて、その場には入られな、かた、と思います。

よしろうさんが出版した『7000℃の少年』は、原爆の恐ろしさ
を読みとることが出来ます。原爆ドームと同じように、もう原爆
を落とすことはないようにと訴えかける象徴のようなものだ
と思います。

乗富さくら